

2025 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 13 日

1. 職名・氏名 教授 吉弘 淳一
2. 学位 学位 教育学修士 専門分野 特別支援教育 授与機関 三重大学 授与年 1992
 学位 社会福祉学修士 専門分野 児童福祉 授与機関 龍谷大学 授与年 1997

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 児童家庭福祉論（2 単位 毎年開講） 2 年生 （2025 年度）開講
② 内容・ねらい 児童が置かれている環境、社会的な状況を把握することによって、将来児童にかかわる専門分野への関心を高める。また、特に児童ソーシャルワークへの導入を考えた授業内容を展開する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 現在、児童福祉に関わるめまぐるしい法律改正のポイントを段階を追ってまとめ、それぞれの特徴をプリントにして学生に示す。また児童にかかわる現状について、新聞等での解説を含め情報と興味を高める工夫をしている。それをもとに、小テストを実施しながらスモールステップで理解度を高めていく。 視覚教材を取り入れながら現状と教科書との温度差を感じてもらい、理論と実践が組み合わされるような工夫を行っている。 答えは一つだけではなく視点を变えて様々な考え方を取り入れ、引き出せるようにグループ発表、レポートの提出を積極的に行っている。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 家族ソーシャルワーク論（2 単位 毎年開講） 2 年生 （2025 年度）不開講
② 内容・ねらい 現代における「家族」の定義、家族のあり方を学生の視点で理解を深められるようにする。家族の成員、一人ひとりの役割を明確化し、お互いが何らかの形で関係しあっていることを考え、家族システム理論の理解を目指す。またマッピング技法の習得も目指す。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 家族療法の面接技術の習得に関して、視覚教材を通して立体的に理解を深める。また、ロールプレイをすることによって、自分自身のスキル向上に効果を促す。 社会人の方が授業に参加しておられることが多いので、その方に現状の施設における家族面接の実際を担当教員とのロールプレイを通して受容を進めている。 答えは一つだけではなく視点を变えて様々な考え方を取り入れられるようにグループ発表、レポートの提出をしている。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会福祉演習（2 単位 毎年開講） 3 年生 （2025 年度）
② 内容・ねらい 4 年次の卒論作成に向けて、それぞれが興味のある話題を深め、プレゼンテーションの基本を身につけることも目標の一つである。子どもを取り巻く環境からどのような問題や課題が考えられるのかをゼミ生による発表と意見交換を通じてお互いに学び合う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 お互いが理解を深め、個を認め合うことを目指す。その上で個人が問題提起を行えるような工夫をする。特に、実際に保育園、幼稚園、子ども園、児童館、福井少年鑑別所等に見学に行き、子どもとの現状を学生が感じ取れ考えられるように実践を取り入れている。 「Working with Involuntary Clients」をサブテキストとして輪読を行い、それぞれ発表して意見を交換する。 実習との兼ね合いを考え、10 月以降はクライアントへの対応を主に事例研究を行う
(1)講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 ソーシャルワーク論Ⅳ（2単位 毎年開講） 2年生 （2025年度）
② 内容・ねらい 社会福祉施設、機関の現状を理解し、実習現場においてどのようなスーパービジョンを受けてきたのかをロールプレイを含め理解する。また、一つひとつの言葉の意味とその背景について理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材を取り入れながら授業を進めている。また、感想や疑問点についてレポート提出を行っている。
(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会福祉実習および実習指導（6単位 毎年開講） 3年生 （2025年度）
② 内容・ねらい 社会福祉士として必要な知識・技術・価値、および関連知識への理解を深め、社会福祉サービスの利用者と社会福祉士の援助の実際を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を高める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材、実際に現場の職員に講義を受講することで実践と理論の両輪を学ぶ工夫を行っている。
④ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材を取り入れながら授業を進めている。また、感想や疑問点についてレポート提出を行っている。
(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 スクールソーシャルワーク論（2単位 毎年開講） 2年生 （2025年度）
② 内容・ねらい 学校教育の現状を理解する中で、社会福祉士（スクールソーシャルワーカー）としての役割を理解する。スクールソーシャルワーカーとしての必要な知識・技術・価値、および関連知識への理解を深め、学校の実践を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を高める。また、スクールカウンセラーとの協働についても考察を行う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学校現場の現状について視覚教材、実際に現場の教員に講義を受講することで実践と理論の両輪を学ぶ工夫を行っている。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表（2025年1月～12月）
① 著書 ・「子ども家庭支援論」第5章 p40～50 2025年3月30日
② 学術論文（査読あり）「0本」
③ 学術論文（査読なし）「0本」
④ 学会発表等「1件」 ○日本福祉図書文献学会第27回全国大会『「子ども基本法」に基づく「子ども大綱」の策定の意義』2025年8月

⑤ その他の公表実績
(2) 科研等の競争的資金獲得実績
(3) 特許等取得
(4) 学会活動等
○学会での役職など 日本福祉図書文献学会 理事 2015 年 11 月～現在に至る 日本学習支援学会 副会長 2015 年 10 月～現在に至る 関西人間学会 副会長 2010 年 11 月～現在に至る 日本福祉図書文献学会学会誌『研究紀要』査読委員 2014 年度～ ○学会・分科会の開催運営 ・第 25 回日本福祉学習支援学会全国大会及び第 19 回関西人間学会の学術共同学会開催を、2025 年 11 月 8 日～9 日に福井市で開催した（大会長 吉弘淳一）

5. 地域・社会貢献

(1) 学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 福井県要保護児童地域対策連絡協議会 委員長 2015 年～現在に至る 第 5 次福井県ひとり親家庭自立支援計画委員会 委員長 2017 年 4 月～現在に至る 福井県敦賀市小学生自死第 3 者委員会 委員長 2020 年 5 月～現在に至る 福井県教育委員会委託中学校・小学校スクールカウンセラー 2010 年 4 月～現在に至る ② 国・地方公共団体等の調査受託等 福井県敦賀市小学生自死調査委員会 委員長 ③ （公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加 NPO 法人「あったかコミュ R みえ・あそび箱 AM」 副代表 2014 年 4 月～現在に至る ④ （兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動 ⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 ⑥ その他 ○FBC「ぶらり子育てしゃべり隊プラス」企画監修担当委員
(2) 大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講 ② 社会人・高校生向けの講座 ○福井県若狭高等学校「1 年生学問発見講座」講座 ○医療系大学体験授業「自己分析からのより良い人間関係づくり」 ③ その他
(3) その他（個人の資格で参加している社会活動等）
○1 月 ○2 月 ① 公益財団法人ふくい女性財団「学童保育での子どもたちへの声掛けや気がかりな子どもたちへのスタッフの心構えについて」鯖江市ファミリーサービスクラブ研修会 18 日 ② 坂井市要保護児童対策地域協議会研修「養育力の乏しい保護者への家庭支援について」13 日

○3月

- ①福井県あわら市保育部会講演会「子どもの発達理解と自己理解について」23日

○4月

- ①福井県越前町保育部会講演会「子どもの健やかな心をはぐくむために」22日

○5月

- ①滋賀県近江八幡市ひむれ乳児保育所職員研修会「子どもの発達に応じた理解と対応について」15日
- ②令和7年度福井ライフ・アカデミー共催講座「自分を知って、うまくつき合おう」
坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課 17日
- ③福井市中央公民館家庭教育事業「子育てラボ」「子どもへの笑顔とHUGの効果を通したより良い子育て～ポジティブな自分理解を目指して～」28日

○6月

- ①令和7年度 第1回小浜市成人大学講座・家庭教育講演会「子どもの発達における理解を通して～自己肯定感を広げる関わり方～」8日
- ②福井県児童館連絡協議会第1回児童厚生2級指導員研修会
「配慮を必要とする子どもの支援」18日
- ③滋賀県東近江市こども未来部 幼児教育センター 保育力アップ研修会①「保護者への効果的な声掛けや応答の方法について」20日
- ④福井県福井市小鳩幼稚園職員研修「自己理解を通してより良い保護者とのかかわり」19日

○7月

- ① 滋賀県東近江市教育研究所 夏期研修講座（生徒指導・教育相談講座）「子どもの理解とコミュニケーションのより良い取り方について」25日
- ② 福井県福井市北郷小学校保護者研修会「ハグの効用と親子の絆について」12日
- ③ 滋賀県東近江市こども未来部 幼児教育センター 保育力アップ研修会②「子育ての喜びや楽しさの保護者への伝え方について」11日

○8月

- ①鯖江市公私立保育研修会 保育カウンセラー研修会「不適切保育未然防止」8日
- ②滋賀県彦愛犬権利擁護サポートセンター虐待防止啓発講座「より良い人とのかかわりの中でちょっとした工夫のポイント10ー自己分析からのストレスマネジメントの方法ー」18日
- ③福井県教育庁義務教育課 子育て出前講座 ジャパンポリマーク株式会社社員研修「子どもと家族のチームワークについての方法」31

○9月

- ① 福井市社会福祉協議会 令和7年度児童館職員研修「子ども、保護者とのより良いかかわりの方法について」2日
- ② 福井県越前町学習センター 令和7年度福井ライフ・アカデミー共催講座「子どもの健やかな成長を促すより良いかかわり～保護者の自己分析からの方法～」6日
- ③ 坂井市役所結婚応援課「婚活力アップ塾コミュニケーション講座」21日
- ④ 滋賀県米原市社会福祉協議会 令和7年度『傾聴ボランティア養成講座』①30日

○10月

- ①福井県美浜中央小学校「子どもの話を聴く時のポイント」14日
- ②滋賀県米原市社会福祉協議会 令和7年度『傾聴ボランティア養成講座』②16日
- ③福井県福井市認定こども園暁幼児園保護者講演会
「子どもの理解とより良い子育てについて」17日
- ④福井県坂井市高椋小学校「就学時健康診断時における子育て講演会」28日

○11月

- ① 福井市障がい者・高齢者権利擁護講演会「明日がちょっと楽しみになる人と人とのより良い言葉かけ」1日
- ② 第65回北陸信越薬剤師大会・第58回北陸信越薬剤師学術大会ワークショップ「自己分析からのより良いコミュニケーション術」3日
- ③ 福井県福井市啓蒙小学校 就学時健康診断 子育て講演会「子どもとの上手な関わり方」6日
- ④ 福井県福井市社南小学校 就学時健康診断 子育て講演会「子どもとの上手な関わり方」12日
- ⑤ 福井県あわら市保育部会研修会「子どもの発達段階に即応するより良いかかわり」14日
- ⑥ 福井県福井市公立保育研究会園長研修会「保護者とのより良いかかわり」18日
- ⑦ 保育ステップアップ講座「社会的養護の理解と対応」株式会社グレート 21日

○12月

- ① 滋賀県豊郷町豊日中学校校内人権研修「自尊感情の育成と子どもを取り巻く環境について」8日
- ② 福井県小浜市三方小学校 PTA 講演会「子どもとのより良いかかわり方のポイント」19日

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
看護福祉学部社会福祉学科学科長
(2)委員会・チーム活動
学科カリキュラム委員会、大学院社会福祉研究セミナー、大学院カリキュラム検討チーム
(3)学内行事への参加
BBS サークル顧問
(4)その他、自発的活動など